気仙沼市

pressrelease

記者発表資料
令和２年１月 28 日（火）
震災復興・企画部震災復興・企画課
けせんぬま創生戦略室（地方創生係）
担当：三浦（内線 316）

地域おこし協力隊活用プロジェクトを選定しました

■　本市では、平成 28 年より地域おこし協力隊制度を導入しています。今般、活動の範囲を広げ、更なる強化を図るため、隊員を増員します。

■　増員する隊員の受け入れ先として、十分な活動環境を提供できることを条件に活用プロジェクトを公募したところ市内６団体より申請があり、プレゼンテーション等による審査の結果、評点の高かった３件（３団体）を選定しました。

■　今後は市と団体が協力して隊員を募集し、採用が決まり次第、順次、隊員活動を開始する予定です。

【概　要】

１　選定プロジェクト・支援団体・隊員活用人数　：　３件（３団体）　４名

プロジェクト名	プロジェクト概要	支援団体名	隊員活用人数
子育ての輪お結びプロジェクト	子育て支援団体の中間支援と子育て支援施設の運営	一般社団法人Omusubi	２名
水産業担い手確保および定着支援事業	漁業者の担い手受け入れ体制の構築、求人マッチング、体験プログラムの企画・運営	一般社団法人歓迎プロデュース	１名
ペンシーネクストスイッチプロジェクト	子供たちを対象に、デザインを通じた表現の選択肢や視野を広げる教育プログラムの企画・運営	ペンシー	１名

２　公募・審査経過

（1）　プロジェクトの公募

（ア）　募集プロジェクト数及び隊員数

プロジェクトは２件、隊員は１件あたり２名まで。隊員数の合計が４名に満たない場合は最大４件まで追加可能とする。

（イ）　応募資格

・プロジェクトが、第２次気仙沼市総合計画に掲げる基本目標の実現に寄与するものであること。

・隊員が行う活動が市内で行う地域協力活動であること。
・プロジェクトを行う団体が、隊員の募集及び移住生活のための支援並びに地域協力活動の調整及び支援を行うことができると認められること。　　など

（ウ）　募集期間　　令和元年12月２日（月）から令和２年１月10日（金）

（エ）　申請件数　　６件

（２）　プレゼンテーション審査

（ア）　気仙沼市地域おこし協力隊活用プロジェクト審査委員会　10名

（構成：市職員　５名、けせんぬま創生戦略会議委員　３名、市の人材育成プログラム卒塾生　２名）

（イ）　開催日時

令和２年１月20日（月）　午後１時15分

３　今後の予定

- 選定したプロジェクトの支援団体と地域おこし協力隊事業の業務委託に向けた協議を行います。
- 協議が整い次第、市と支援団体は協力して地域おこし協力隊隊員を募集します。
- 採用が決定した際には、地域おこし協力隊隊員として、市から委嘱し、支援団体の下、活動を開始します。

【参考　気仙沼市の地域おこし協力隊制度の状況】

（１）　地域おこし協力隊制度の概要

気仙沼市に都市住民を受入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、３年を限度に、地域おこしの支援、農林漁業従事、環境保全活動、住民の生活支援など各種地域協力活動に従事してもらいながら、当該地域への定住・定着を図る取り組み

（２）　現在の隊員活動状況

事業名	隊員数
水産資源などの地域資源を活用した新産業・特産品の創出事業	２名
気仙沼市の魅力の発信及びプロモーション活動	２名
気仙沼市を中心とした三陸沿岸地域の日本型ＤＭＯ構築事業	２名
気仙沼市への移住者の受入に係る支援活動	２名
環境負荷の少ない社会の構築事業	２名
生産現場の合理化強化（山村活性化）	１名
合計	11名

（３）　任期満了により退任した隊員の状況

現在までに「環境負荷の少ない社会の構築事業」に関わる２名の隊員が任期満了で退任しました。このうち１名は、退任後市外に転出し、１名は市内に定住しています。